

# 東京外国語大学海外事情研究所 刊 行 印 刷 物 総 目 録

(1956年4月～2000年3月現在)

- 一、資料 (1956～1959年)
- 二、研究双書 (1962～1965年)
- 三、文部省特定研究 (1977～1998年)
- 四、個別研究報告 (1981～1998年)
- 五、地域研究ブックレビュー (1984～1998年)
- 六、Quadrante (クアドランテ) (1999年～)
- 七、活動報告・目録

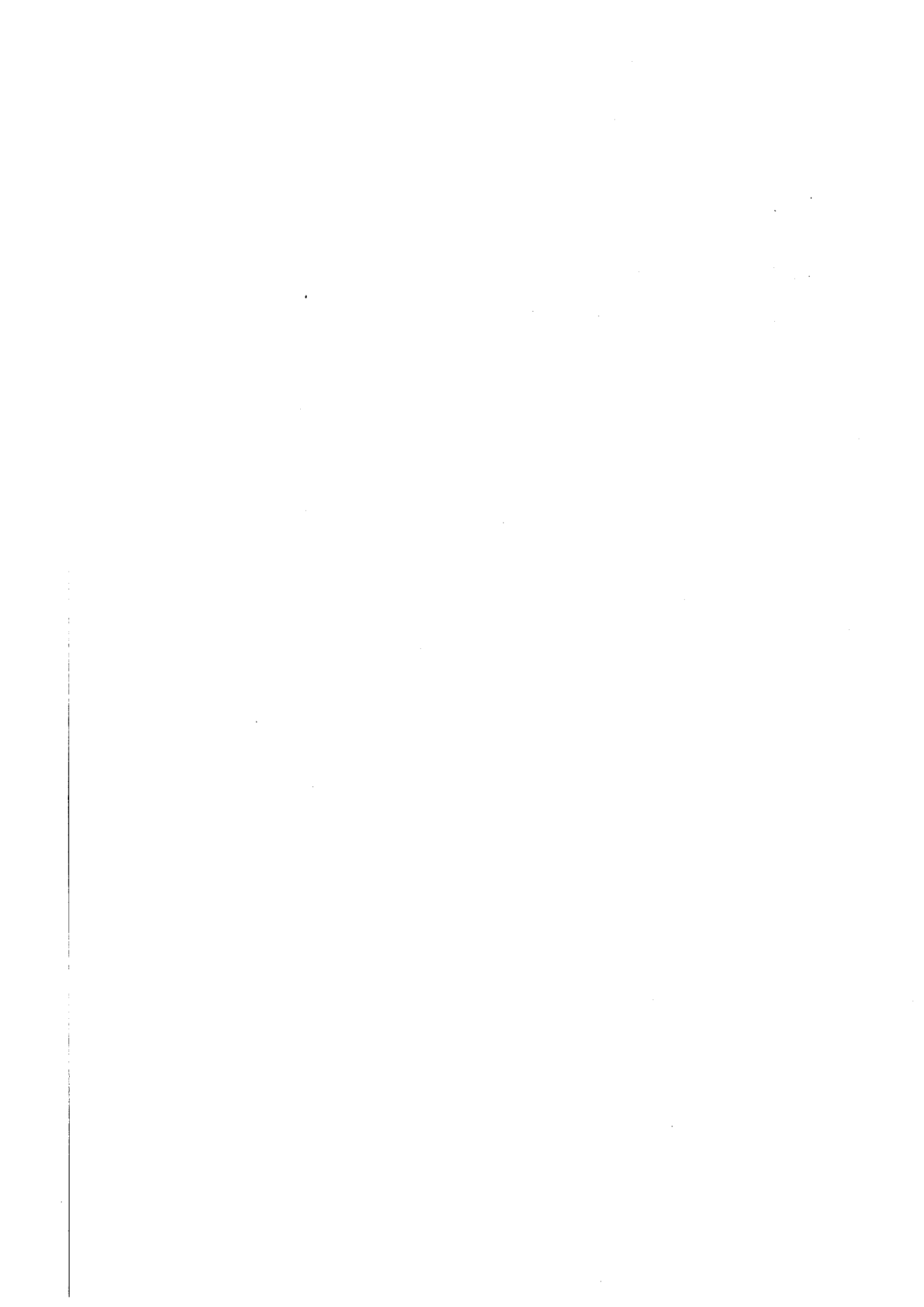
東京外国語大学海外事情研究所

(2000年3月)



## 目 次

一、研究資料	1
二、研究叢書	2
三、文部省特定研究	3
四、個別研究報告(通し番号・タイトル・著者訳者)	13
五、地域研究ブックレビュー	20
六、『Quadrante』(クヴァドランテ)	31
七、活動報告・目録	33



## はしがき

戦後 1954 年に設立された東京外国語大学海外事情研究所は、外国語学部所属の事情系教員・人文社会科学系教員を中心とする学内研究組織として活動をつづけてきた。設立は、新制東京外国語大学の英語名称を Tokyo University of Foreign Studies としたその Foreign Studies を実質化するという意図にもとづく発足であったようである。その後の活動については、本総目録中の「一、資料」「二、研究双書」や、1991 年に編集された『海外事情研究所のあゆみ』を見ていただくと概要はわかる。1976 年度から 1998 年度までは、「文部省特定研究費」の交付をうけ、活発な研究活動をおこなってきたが、1998 年度にそれが廃止され、さらに 2000 年 8 月には、長年住み慣れた「西ヶ原キャンパス」を離れ、「府中キャンパス」へ移転することになった。移転に伴う資料の散逸を妨ぐため、書庫に収められていた以前に刊行した出版物・印刷物を整理し、製本を行ったが、この際に、今までの活動を記録して残しておくためにも、「刊行物総目録」を作成し、今までの活動の記録とするとともに、新キャンパスでの活動の土台としたいと考えた次第である。本目録に収められている研究は、製本されて本研究所に所蔵されている。諸氏の利用に供することができれば幸いである。

海外事情研究所長  
佐藤公彦

2000 年 3 月



## 一、研究資料

### 1956年4月

- (1) 米外交政策における大統領の役割 ……E. H. ミラー

### 1956年10月

- (2) ソ連のアジア研究——研究の動向と文献目録—— ……坂本是忠

### 1957年3月

- (3) タイ研究文献目録 ……河部利夫、松山納、中島慰、尾野秀一、田中忠治編

### 1957年11月

- (4) ドイツにおける婦人の政治意識(その1) ……鈴木幸寿

### 1958年2月

- (5) インド経済開発の一考察——農村社会と多目的協同組合—— ……田中忠治

- (6) ザミンダールとザミンダリー廃止(その1)——土地改革の一考察—— ……松谷賢次郎

### 1958年3月

- (7) ロシアにおける近代化の一姿態  
——占有マニファクチュアの性格規定(その1)—— ……徳永彰作

### 1958年10月

- (8) ブラジル社会学の発展 ……佐野泰彦

### 1959年3月

- (9) 海外の学界動向——ブラジル・アメリカ、タイ、ソ連——

① ラテン・アメリカ社会学の現状 ……佐野泰彦

② タイ国社会科学の動向 ……田中忠治

③ ソ連邦におけるポーランド史研究 ……鶴岡重成

- (10) チベット問題 ……坂本是忠

### 1959年7月

- (11) ソ連の東部開発(その1)——基本計画と文献目録—— ……鶴岡重成

### 1960年7月

- (12) タイ華僑の変質——東南アジア華僑試論—— ……河部利夫

## 二、研究叢書

### (1) 1962年 3月

ドイツにおける婦人の政治意識(その2)

……鈴木幸寿

ユーゴスラヴィヤの社会主義工業生産機構

……徳永彰作

### (2) 1963年 3月

十九世紀及び二十世紀におけるブラジル史学研究概観(その1)

……ペドロ・モアシール・カンポス著、佐野泰彦訳

### (3) 1964年 3月

十九世紀及び二十世紀におけるブラジル史学研究概観(その2)

……ペドロ・モアシール・カンポス著、佐野泰彦訳

### (4) 1965年 3月

ソビエト法における個人財産権の本質について

……佐藤 勇

### (5) 1965年 5月

イギリス法における無権代理責任の素描

……長尾治助



### 三、文部省特定研究

1977年3月

#### 第1号 「社会主義国とその国際環境に関する研究」

##### 第1部

- ソ連社会主義経済の成長と構造 ……岡田 進  
冷戦の起源とソ連外交(その2)——ルーマニアのソヴィエト化(その1)—— ……志水速雄  
ソ連社会の自己認識について ……新田 実

##### 第2部

- 銀行国有化をめぐる諸問題(その1)——1976イギリス労働党の改革計画— ……長 幸男  
イギリス社会主義の展望——Michael Barrat Brown,  
From Labourism to Socialism, 1972, の紹介(その1) —— ……山之内 靖  
イギリスにおける中等学校再編成の大学への影響 ……小澤周三  
ポルトガル革命の背景 ……金七紀男

##### 第3部

- ブラジルの対外政策転換と国際環境 ……中川文雄  
タイ社会の構造とドミノ理論 ……田中忠治  
ベトナム古代民間文学に関する一考察 ……グエン・カオ・テム著、日隅真澄訳

1978年3月

#### 第2号 「社会主義国とその国際環境に関する研究」

##### 第1部

- 中ソ対立の構造と地政学 ……中嶋嶺雄  
米中軍提携論の諸問題——米中ソ三極構造を背景として—— ……宇佐美 滋  
中国と現代国際法——国連復帰まで—— ……斎藤恵彦  
冷戦の起源とソ連外交(その2) ——ルーマニアのソヴィエト化(その2、承前)—— ……志水速雄  
東ドイツ社会学の現状と問題——とくに経験的社会研究を廻って—— ……鈴木幸寿

##### 第2部

- 経済政策における保守と革新——米加比較—— ……小浪 充  
イギリス社会主義の展望——Michael Barrat Brown,  
From Labourism to Socialism, 1972, の紹介(その2)—— ……山之内 靖

1979年3月

第3号 「欧米における地域研究」

1. European Studies
2. U. S. S. R. & East European Studies
3. North American Studies
4. Latin American Studies
5. Asian Studies
6. Near Eastern & North American Studies
7. African Studies
8. Studies on Commonwealth
9. Studies on Developing Countries
10. International Relations List of Institutes

1980年3月

第4号 「地域研究——その方法論と事例研究——」

第1部

- 地域研究方法論の周辺 ……小浪 充
- 地域研究の対象としての西ヨーロッパ ——方法的検討と一ケースの紹介—— ……田中治男
- 西独社会学の戦後史——とくにその現状について—— ……鈴木幸寿

第2部

- オーストラリア・中国・日本＝三国関係とアジアの国際環境 ……中嶋嶺雄
- 米中軍事提携の諸問題：その2 ……宇佐美 滋
- 「スコットランド・ナショナリズム」覚え書き ……木畑洋一
- 第二次ナッハース政権崩壊の背景——1931年6月の政変を巡って—— ……藤田 進
- 金価格論ノート——その1：マハループ vs リュエフ—— ……長 幸男
- 社会主義的所有の二形態の接近と融合——ソ連における理論と実践—— ……岡田 進
- アメリカ極東経済使節団に関する覚書 ……伊豫谷登士翁
- イギリスにおける宗教教育の変遷——公立学校の場合—— ……小澤周三

1981年3月

第5号 「アジア・太平洋地域における近代化と文化の変容  
——地域研究方法にもとづく実態分析——」

- 東南ア・中国旅行の雑感的覚え書——地域研究の或る視点—— ……長 幸男
- 東南アジア社会の近代化 ……田中忠治
- インドネシア教会協議会の成立 ……伊東定典
- レーガン政権の対中国政策と台湾問題 ……宇佐美 滋

- バナア・バンピーラ「従属理論の歴史的背景」……………高橋正明  
 ウォルプ「諸生産様式の接合」——発展途上国論の新潮流——……………伊豫谷登士翁

1982年3月

第6号 「欧米地域の構造変化とそれにもなう文化変容  
 ——地域研究方法にもとづく実態分析——」

- R. ロビンソン, J. ギャラハー共著『ヴィクトリア時代人とアフリカ問題・  
 帝国主義と行政当局の志向』の摘要……………山之内 靖  
 ヨーロッパ現代史における危機と戦争 ——A. J. メイヤの研究をたどって——……………木畑洋一  
 いわゆる重商主義期の毛織物工業政策……………佐藤弘幸  
 「アメリカン・ドリーム」とアメリカ人の資本主義観  
 ——1930年代と80年度の比較を中心として——……………小浪 充  
 <民衆文化>の歴史のために——カルロ・ギンズブルグ  
 『チーズと蛆虫——十六世紀の或る粉屋の宇宙』序文の紹介——……………上村忠男  
 ラテンアメリカ人民闘争史序説——ゴンザレス・カサノバを読む——……………高橋正明  
 アメリカ合衆国、カナダ、オーストラリアの離婚法改正と日本離婚法  
 イギリスの「テラー報告書」……………坂口洋一  
 ——学校管理方式の転換(教育における「参加」)と教育課程行政——……………小澤周三  
 ソ連の工業企業の経済・社会発展計画  
 ——モスクワ自動ライン工場の事例紹介——……………岡田 進

1983年3月

第7号 「日本の国際化と地域研究の役割」

論 説

- 日本の救済神信仰と普遍主義——習合宗教から初期新宗教へ——……………島 蘭 進  
 アジア太平洋地域の人権擁護機構と日本の役割  
 ——82年のコロンボとバンコックでの国際セミナーからの報告——……………斎藤恵彦  
 ソ連の食料=農村問題——日本との対比において——……………岡田 進  
 環境保護の法理論……………坂口洋一

研究動向

- イギリス帝国主義研究についての覚書——その衰退・崩壊過程研究の課題——……………木畑洋一  
 Japan As an Exceptional Country: Some Views from  
 the United States and a New Self-image From Japan……………H. S. Goldberg

翻 訳

- 「日本における原料の貧困と外国貿易への依存」(1937年)  
 ……フレッタ・アトレー著、伊豫谷登士翁訳  
 「社会革命と社会の形態変化——文明の比較研究——」……………アイゼンシュタット著、山之内 靖訳

「アジア的生産様式論」研究について

——ベトナムにおける研究と日本での研究文献の紹介——

……日隅真澄

1984年3月

第8号 「『第三世界』の社会変動と地域研究」

論説

ブラジル大土地所有制の起源（一）

——植民期ブラジルの土地制度史のための覚書——

……金七紀男

スイスタンのアイヤール——Tarikh-i Sistanの記述を中心に——

……清水宏祐

新国際経済と人権

……斎藤恵彦

Proto-Theory of Corporatism: The State of the Art

……H. S. Goldberg

研究ノート

統一から第一次世界大戦までのイタリア資本主義発展をめぐる論争について

……モルテーニ・コラード

メキシコにおけるルエスニック・セクト「メノニータス」について

……清水 透

書評

ジョセフ・レ・ラブ著「ブラジル連邦のなかのサン・パウロ、1889～1937」

……鈴木 茂

翻訳

「経済の未発達な諸国の社会主義への移行の理論的諸問題」

……ア・ブテンコ編著、岡田 進訳

「発展途上国インフォーマル・セクターに関する論争」

……トクマン著、伊豫谷登士翁訳

「アジア的生産様式に関する理論と実践」

……グエン・ホン・フォン著、日隅真澄・加藤栄訳

「労働者とチリ革命過程(1970～1973)」

……ピーター・ウィン著、高橋正明訳

1985年3月

第9号 「人的移動にともなう社会変動と文化摩擦」

論説

流浪のイタリアと移民たち

……上村忠男・伊藤章子

ポルトガルの移民と人口問題(1885～1975年)

……金七紀男

台湾の労働力移動と企業内教育

……川喜多 喬

アガ・カーン報告書をめぐって——人権と人々の大量流失——

……斎藤恵彦

米中文化交流とその問題点

……宇佐美 滋

ソ連農業における個人副業経営

——とくに農村社会の変容との関連において——

……岡田 進

研究ノート

第三世界における「ローカル市場」の解体と国内労働移動

……伊豫谷登士翁

1784～1848年ウィーンにおけるユダヤ人の社会的状況

——Akos Low の Matrikeln 分析——

……増谷英樹

翻 訳

「ラテンアメリカにおける都市移住者と都市貧民居住区」

……アレハンドロ・ポルテス著、高橋正明訳

1986年3月

第10号 「人的移動にともなう地域社会の変容——その国際比較——」

十九世紀後半ブラジル奴隷社会の変容

——サン・パウロ県に関する人口統計を中心に——

……鈴木 茂

「ポルトガル歴史叙述における〈発見〉の起源」

……V. M. ゴディニョ著、金七紀男訳

ザカフカズのイラン人出稼ぎ労働者とイラン立憲革命(1)

……八尾師 誠

移民の現在——あるペルー女性移民の軌跡を通して——

……伊豫谷登士翁

拝啓、村長様——〈大いなる戦争〉の前線からのイタリア南部人民兵士たちの手紙——

……上村忠男・伊藤章子

アハマト・ナザリ・アブドゥラ「マレー人保留地の研究」

……小野沢 純

インドシナ難民の米国社会への融合

……宇佐美 滋

「転勤」の社会学——労働力移動の「日本的形態」の現状と課題——

……川喜多 喬

1987年3月

第11号 「人的移動にともなう都市および農村の変容——国際比較の観点から——」

論 説

第三世界の都市化と労働力移動

——Armstrong & Mc Geeの議論を中心として——

……伊豫谷登士翁

コーヒー・プランテーションとインディオ共同体

——メキシコ・チアパス高地の労働力移動——

……清水 透

チリ・ポアラドーレスによる土地占拠運動

……高橋正明

ザカフカズのイラン人出稼ぎ労働者とイラン立憲革命(2)

……八尾師 誠

イギリスにおける産業教育・訓練制度改革

……小澤周三

翻 訳・紹 介

『十九世紀ウィーンへの流入人口の社会構造』

……ヨーゼフ・エーマー、ハインツ・ファスマン著、増谷英樹訳

「福音主義者キロンナの生涯」——ロッコ・スコテッラーロ著

『南イタリアの農民たち』より——

……上村忠男・伊藤章子

1970年代のブラジル奴隷制研究——エミリア・ヴィオットティ・タ・コスタ著

『センザーラからコロニアへ』再版への序文——

……鈴木 茂訳

『ビルマ社会の中の孤島』——インド移民第三世代の村——

……ミヤ・タン著、斎藤照子訳

## 書評

- 近代日本都市下層民研究のあらたな成果——中川津『日本の都市下層』、  
杉原薫・玉井金五編『大正・大阪・スラム』を読む—— ……成田龍一

## 研究動向

- 社会史研究の新しい潮流  
——マックス・プランク歴史研究所グループの紹介—— ……山之内 靖

1988年3月

### 第12号 「都市におけるエスニシティと文化——理論的枠組みと事例——」

- 地域研究と文化人類学 ……報告者：中村光男  
……ディスカッサント：二宮宏之  
上村忠男  
……司会者：田中治男
- ヨーロッパにおけるエスニシティの問題——フランスの事例を中心に—— ……二宮宏之  
ヴェーバー都市論と世界史像の再構成  
——田中豊治『ヴェーバー都市論の射程』によせて—— ……山之内 靖
- ポルトガル中世都市のユダヤ人とモーロ人 ……金七紀男
- 移民船ガリレオ号の人々——デ・アミーチス『大洋の上で』より—— ……上村忠男・伊藤章子
- 現代における都市経済の再編——試論—— ……伊豫谷登土翁
- 平等雇用法制下でのアメリカ企業の人事管理 ……川喜多 喬
- サンティアゴ市における都市空間の形成  
——社会階層による居住地区の分離を中心に—— ……高橋正明
- 二十世紀初頭における東京の民衆運動 ……成田龍一
- フィンランド主権のオーランド諸島におけるスウェーデン人住民の自治について  
——少数民族問題の平和的処理の一例—— ……斎藤恵彦

1989年3月

### 第13号 「都市におけるエスニシティと文化——国際比較の観点から——」

- 十六世紀の南ネーデルラント移民と都市経済 ……佐藤弘幸
- 都市生活者の見た世界  
——アルプ・アルスラーン時代のバグダード（第一部・史料編）—— ……清水宏祐
- ポブラドーレスの世界(1) ……高橋正明
- 民族的アイデンティティとは何か  
——清水 透著『エル・チチョンの怒り』をめくって—— ……論評者：太田昌国、上村忠男
- 移民パターンの国際比較に関するノート(1)——統計上並びに概念上の諸問題—— ……伊豫谷登土翁
- ガストアルパイターへの接近(1)——その社会的状況の分析方法をめくって—— ……増谷英樹
- 英国におけるエスニシティと教育(試論) ……小澤周三

アジアから世界を見る視点——田中忠治著『タイ——歴史と文化』をめぐって—— ……吉田光男  
翻訳

『英植民地支配以前のヤラヤにおける階級関係』 ……ジョモ・K・スングラム著、小野沢 純訳

「名前のない町」——『ロシヤの夜』より—— ……V. オドエフスキイ著、渡辺雅司訳

『感じ方、考え方と経済行動』 ……V. M. ゴディニヨ著、金七紀男

### 1990年3月

#### 第14号 「都市におけるエスニシティと文化——社会構造の変化との関連において——」

サン・クリストバル市にみる都市の〈インディオ化〉 ……清水 透

都市生活者の見た世界

——アルプ・アルスラーン時代のバグダード(第二部・解題編・1)—— ……清水宏祐

ベイルート郊外難民キャンプの周辺——レバノン内戦の発火点—— ……藤田 進

ブラジル奴隷制コーヒー・プランテーションの労働編成

——『サン・ペドロ農場の日誌』、1879~1890年—— ……鈴木 茂

大衆民主主義時代の比較社会学——方法的試論——

##### 〔第一論文〕

大衆民主主義時代の比較社会学——『権力への意志』と『支配の社会学』—— ……山之内 靖

##### 〔第二論文〕

西欧「社会史」の原像——ヴェーバーの歴史社会学に即して—— ……樋口辰雄

##### 書評

藤田進著『蘇るパレスチナ』 ……八尾師 誠

カースト研究の回顧と展望——「カースト及びインド社会論関連研究文献目録

(図書編)——1960年以降の主要な研究を中心として—— ……藤井 毅

### 1991年3月

#### 第15号 「地域紛争(コンフリクト)と相互依存(1)——地域紛争の今日的意味と分析枠組——」

地域紛争の今日的意味 ……中嶋嶺雄

##### 特集：社会主義の現在

##### 社会主義の現在(1)

「歴史の終焉」、その意味と諸相 ……岩崎 稔

システム社会の変容と「歴史の終焉」 ……山之内 靖

##### 社会主義の現在(2)

ユーゴスラヴィアの現在——危機にたつ連邦制—— ……柴 宣弘

……コメント：小沢弘明

##### 社会主義の現在(3)

中国社会主義のゆくえ ……天児 慧

中国の社会主義と知識人——最近の議論をめぐる一試論—— ……佐藤公彦

都市生活者の見た世界

- アルプ・アルスラーン時代のバグダード(第二部・解題編2) ……清水宏祐
- ポプラドーレスの世界(2) ……高橋正明
- ビーグル海峡問題(アルゼンチン・チリ)の解決と  
ローマ教皇庁の居中調停(mediation) ……斎藤恵彦
- いわゆる「インフォーマル労働」についての覚書 ……伊豫登士翁
- クウェート市外国人街から見た「戦争と平和」 ……藤田 進

1992年3月

第16号 「地域紛争(コンフリクト)と相互依存(2)——事例研究の観点から——」

特集：湾岸戦争

- 地域紛争としての湾岸戦争の残した課題——人道的救援と国家主権—— ……斎藤恵彦
- 湾岸戦争と中国 ……宇佐美 滋
- 湾岸戦争と西欧知識人 ……岩崎 稔
- 社会主義と民族紛争 ……中嶋嶺雄
- 転換期の「オーストリア国民」意識 ……小沢弘明
- 枯渇資源と世代間公正——環境問題への経済学的一接近—— ……大沼あゆみ
- 軍政下チリのポブラシオンにおける演劇活動 ……高橋正明
- ヨーロッパ精神文化の伝統における北欧型と南欧型  
——マックス・ヴェーバーの精神病歴分析—— ……山之内 靖

1993年3月

第17号 「地域紛争(コンフリクト)と相互依存(3)——国際社会の変動との関連——」

- リベラリズムは生き残るか——新世界秩序と三極構造—— ……グレッグ, ベンジャミン
- 多国籍企業と越境環境汚染の責任 ……坂口洋一
- エルサルバドル・ホンジュラス国境・島嶼・海洋紛争についての国際  
司法裁判所の判決(1992年9月11日)をめぐって ……斎藤恵彦
- 日米におけるテレビ・コマーシャルの声——異文化間コミュニケーション  
成立に影響を及ぼす社会文化的特性に関する一研究—— ……田島信元、朝尾幸次郎
- EC市場統合とイギリスの教育 ……小澤周三
- ラテン・アメリカにおける都市下層民の運動をめぐって ……高橋正明
- ファシズムとナチズムのはざまの南チロル ……増谷英樹
- 参加と動員——戦時知識人のプロフィール—— ……山之内 靖



1994年3月

第18号 「グローバル化(世界化)と国民国家の再編——分析枠組みの再検討——」

- 今日のアメリカの通商政策と世界貿易体制 ……大沼あゆみ  
EC(EU)市場統合とイギリスの大学(研究ノート) ……小澤周三  
ラテンアメリカ都市下層民の宗教意識——プロテスタンティズムを中心に—— ……高橋正明  
韓国鶏龍山新都内周辺の新宗教教団の現状について ……丹羽 泉  
秘密結社と郷村社会——義和団の場合—— ……佐藤公彦

1995年3月

第19号 「グローバル化(世界化)と国民国家の再編——事例研究——」

- 欧州連合(European Union)の発足とイギリスの教育政策  
——職業教育・訓練を中心にして—— ……小澤周三  
国際競争における企業と国家 ……樋渡由美  
翻 訳  
『日本研究・世界資本主義・アメリカの国益』  
……ヴィクター・コシュマン著、伊豫谷登士翁・岸本由紀子訳  
An Environmental Golden Rule and Sustainable Development ……大沼あゆみ  
日本における外国人労働者論の問題構制 ……伊豫谷登士翁

1996年3月

第20号 「グローバル化(世界化)と国民国家の再編——総括研究——」

- 欧州連合(EU)加盟諸国における教育、雇用と職業資格(研究ノート) ……小澤周三  
国際法上の自決権——序説—— ……西立野園子  
「ポスト冷戦時代」のヨーロッパの安全保障  
——ヨーロッパ政治統合の現状と展望—— ……渡邊啓貴  
台湾の民主化と海峽兩岸関係 ……小笠原欣幸  
翻 訳  
『想像の共同体』第2版第10、11章  
……B.アンダーソン著、伊豫谷登士翁監、佐藤章・井口由布・小川正彦訳

1997年3月

第21号 「ポストコロニアル状況における地域研究(1)」

- ポストコロニアル状況下のマリノフスキー：メキシコにおけるその不在 ……安村直巳  
米欧関係の歴史的理論的考察のための序論 ……渡邊啓貴  
イスラエルにおける「アラブ憎悪」の形成過程(試論)  
——初期ユダヤ人入植活動にみるアラブ排除の局面・上—— ……藤田 進

- ポストコロニアル社会における教育(研究ノート) ……小澤周三  
 フランスとルワンダ(1994年) ——フランスの対アフリカ政策の動揺—— ……増島 健

1998年3月

第22号 「ポストコロニアル状況における地域研究(2)」

- 周縁における「アイデンティティの政治」  
 ——メキシコ・プレペンチャをめぐる言説のせめぎあい—— ……安村直巳  
 十九世紀チリ・エリートの大衆観  
 ——ペオンの国外流出をめぐる論争を中心に—— ……高橋正明  
 台湾の民主化と憲法改正問題 ……小笠原欣幸  
 中国経済における香港の機能 ——新たなイメージを模索して—— ……三橋秀彦  
 途上国の教育に対する国際的援助パターンの変化(研究ノート) ……小澤周三  
 「二分制限法」をめぐる日系社会の対応(研究ノート) ……鈴木 茂  
 アメリカ合衆国旧南部社会の基本構造(1820～1965年) ……佐々木孝弘

#### 四、個別研究報告(通し番号・タイトル・著者訳者)

##### 1981年3月

- (1) 「後期資本主義」 ……ヴォルフ・ディター・ナル、クラウス・オッフエ著、山之内 靖訳  
(2) 「思考としての歴史と行動としての歴史」 ……B. クローチェ著、上村忠男訳  
(3) 「ウーゴ・フォスコロの政治思想  
——civilis aequitas と lex socialisの理論——」 ……高下一郎

##### 1982年3月

- (4) 「中国国際法学の胎動——海洋法学等最近の四つの論文の紹介——」 ……斎藤恵彦  
(5) 「ヴィットリオ・アルフィエリ」 ……カルロ・テンカ著、高下一郎訳

##### 1983年3月

- (6) 「イギリスにおける教育内容の自由と統制」 ……小沢周三  
(7) 「ポルトガルの封建制とその廃止」 ……アルベール・シルベール著、金七紀男訳  
(8) 「食品加工業の多国籍化と発展途上国経済  
——国連報告を中心に——」 ……伊豫谷登士翁  
(9) 「ヴィットリオ・アルフィエリの政治哲学」 ……ピエロ・ゴベッティ著、高下一郎訳  
(10) 「チリ革命と人民権力——コルドン、コマンドをめぐる——」 ……高橋正明  
(11) 「政治学要綱」 ……B. クローチェ著、上村忠男訳・解説

##### 1984年3月

- (12) 「自由の哲学的理論について」 ……B. クローチェ著、上村忠男訳・解説  
(13) 「現代の技術革新と雇用・労働・職業問題  
——研究課題の開拓のために——」 ……川喜多 喬  
(14) 「Emilie Olivierの思想と行動——フランス第二帝政の一側面——」 ……田中治男  
(15) 「1848年ウィーン革命における『ユダヤ人問題』」 ……増谷英樹  
(16) 「ウェーバーからニーチェへ」 ……ウジェーヌ・フレーシュマン著、山之内 靖訳

##### 1985年3月

- (17) 「ヴィーコにおける知識の理論  
——『イタリア人の太古の智慧』抄訳——」 ……上村忠男訳  
(18) 『民主主義国家の社会学的理論のために』 ……フェルディナント・テニース著、田中治男訳  
(19) 「リコール制度と環境の保護」 ……坂口洋一  
(20) 「ブラジル二重社会論——『二つのブラジル』から——」  
……ジャック・ランベール著、金七紀男訳  
(21) 「鉄鋼業の技術革新と労働者——異なる技術レベルの工場間比較——」 ……川喜多 喬  
(22) 「マックス・ウェーバー、ユダヤ人およびルサンチマン」  
……ウジェーヌ・フレーシュマン著、山之内 靖訳

- (23) 「ヴィットリオ・アルフィエーリの悲劇と政治思想(I)  
——悲劇『最初のブルートゥス』考——」 ……高下一郎
- (24) “Michael Walzer’s Post-Liberal Theory on Pluralism and Equality” …… H.S. Goldberg
- (25) 「アメリカにおける『インディオ』の概念」  
……ギイエルモ・ボンフィル・バターヤ著、清水 透訳
- (26) 「イスラムサハラとキャラバン・ルート」 ……藤田 進

### 1986年3月

- (27) 「民主主義と議会主義」 ……フェルディナント・テニエス著、田中治男訳
- (28) 「ある供述書[稿]——円教教主・方栄升の供詞・解題・翻訳・校注——」 ……佐藤公彦
- (29) “Black Politics in the South: The Right to Vote and  
Black Political Power 1965-1985” …… H. S. Goldberg
- (30) 「自然公園法制度の日米比較」 ……坂口洋一
- (31) 「ヴィットリオ・アルフィエーリ最後の悲劇『第二のブルートゥス』  
——口語散文訳——」 ……高下一郎
- (32) 「80年代の技術革新と経営及び労働  
——大企業38社労使への聞取調査から——」 ……川喜多 喬
- (33) 「チリ革命と流通に関する統制(1972年10月～1973年9月)」 ……高橋正明
- (34) 「宗教言語としての体験談——霊友会系教団を例として——」 ……島蘭 進
- (35) 「アフロ・アメリカ新世界の奴隷制」  
……シーロ・フラマリオン・S・カルドゾ著、鈴木 茂訳

### 1987年3月

- (36) 「自由主義研究の最近の動向——文献紹介——」 ……田中治男
- (37) 「社会科学の現在——書評と討論——」 ……山之内 靖
- (38) 「田中耕太郎裁判官の少数意見・全訳——1966年7月18日付の  
国際司法裁判所 南西アフリカ事件第二段階判決——」 ……齊藤恵彦
- (39) 「中国政策における政治家・議会の役割——その日米比較——」 ……宇佐美 滋
- (40) 「首都改造と環境政策」 ……坂口洋一
- (41) 「〈衰退〉または低開発——ポルトガルの事例におけるその起源の再検討——」  
……ミリアン・アルベルン・ベレイラ著、金七紀男訳
- (42) 「東南アジア資本の海外直接投資」 ……小野沢 純

### 1988年3月

- (43) 「米中関係の政策決定過程——米政策決定者たちに聞く——」 ……宇佐美 滋
- (44) 「都市化と失われる自然——保全のあり方をめぐって——」 ……坂口洋一
- (45) 「明清期民間宗教研究覚書  
——野口鐵郎『明代白蓮教史の研究』の批判的検討——」 ……佐藤公彦

- (46) 「ヴィットリオ・アルフィエリの悲劇と  
英雄的リソルジメントの思想譜系：第1部」 ……高下一郎
- (47) 「マレーシアにおけるエスニシティ問題へのアプローチ」 ……小野沢 純
- (48) 「宗教改革と啓蒙主義の間の時期におけるドイツの魔女迫害と魔女裁判(上)」  
……ハルトムート・レーマン著、増谷英樹・岡村 恒訳

### 1989年3月

- (49) 「ヴィーコとスミス、そしてマルクス  
——木前利秋「トピカと労働の理論」に寄せて——」 ……山之内 靖
- (50) 「熱帯雨林保護のあり方——地球環境保護と日本の責任——」 ……坂口洋一
- (51) 「宗教改革と啓蒙主義の間の時期におけるドイツの魔女迫害と魔女裁判(下)」  
……ハルトムート・レーマン著、増谷英樹・岡村 恒訳
- (52) 「アメリカにおける従業員福利厚生の動向」 ……川喜多 喬
- (53) 「ソ連の新経済学教科書における社会主義的所有論の構成」 ……岡田 進

### 1990年3月

- (54) 「米中国交交渉とベトナム関係」 ……宇佐美 滋
- (55) 「世界はひとつに——国際環境法序説——」 ……坂口洋一
- (56) 「フランチェスコ・デ・サンクティスにおける自由の問題  
——1872年の講演『学問と生』全訳——」 ……上村忠男
- (57) 「ビルマ・コンバウン期(AD. 1752~1885)社会経済史資料(1)  
——『コンバウン時代の農地関連証書にみられる社会経済史』第一巻」  
……ウー・トゥーフラ著、斉藤照子・安藤智洋訳
- (58) 「アメリカの中小企業金融」 ……川喜多 喬
- (59) 「『ヴィットリオ・アルフィエリの悲劇と英雄的リソルジメントの思想系譜』、  
その他二篇、資料篇(1)——パリーニ翻訳——」 ……高下一郎編訳
- (60) 「マイノリティー問題と国際連合  
——差別禁止かマイノリティー保護か——」 ……斎藤恵彦
- (61) 「イランにおける国民統合とペルシア語」 ……八尾師 誠

### 1991年3月

- (62) 『ロシヤの夜』 ……オドーエフスキイ著、渡辺雅司訳
- (63) 「有害廃棄物の越境移動と国際法規制」 ……坂口洋一
- (64) 「ヴィーコにおける〈新しい学〉の観念」 ……上村忠男
- (65) 「インド社会論及びカースト関連研究文献目録(図書篇)・その2」 ……藤井 毅
- (66) 「ブラジルへの中国人移民導入に関する二つの史料——史料紹介——」 ……鈴木 茂
- (67) 「『ヴィットリオ・アルフィエリの悲劇と英雄的リソルジメントの思想系譜』、  
その他二篇、資料篇(2)——パリーニ『オーデ』翻訳——」 ……高下一郎編訳

- (68) 「経済ペレストロイカの理論的諸問題  
——脱国家化と市場化をめぐる——」 ……岡田 進
- (69) 「ジャンニ・ヴァッティモ『主体の彼方』序論試訳」 ……岩崎 稔訳
- (70) 「あるユダヤ商人の回想——1831~1911——(1)」  
……ジクムント・マイアー著、増谷英樹抄訳
- (71) 「イギリス保守党政権下の教育政策と教育改革」 ……小澤周三

### 1992年3月

- (72) 「ヴィーコ『新しい学』の公理集」 ……上村忠男
- (73) 『『ヴィットリオ・アルフィエーリの悲劇と英雄的リソルジメントの思想系譜』、  
その他二編、資料編(3)——パリーニ『貴族に関する対話』翻訳——』 ……高下一郎編訳
- (74) 「自然法保護法的戦略」 ……坂口洋一
- (75) 「ビルマ・コンバウン期(AD. 1752~1885)社会経済史資料(2)  
——「コーネエ・テッガイッすなわち人身抵当証書について」——  
……ドオ・オーンチー著、斎藤照子訳  
——『コンバウン時代の農地関連証書にみられる社会経済史』——  
……ウー・トゥーフラ著、斎藤照子・安藤智洋訳
- (76) 「スペインにおけるポルトガル併合とセバステアニズム」 ……金七紀男編
- (77) 「カースト史(族譜)文献研究試論  
——ヒンディー語圏を中心として資料論の立場から——  
「カースト及びインド社会論関係文献目録(図書編)・その3」 ……藤井 毅
- (78) 「スジャラ・ムラユ(1)——翻訳:ムラユ王統記——」 ……小野沢 純
- (79) 「十九世紀中葉のブラジルにおける社会生活」 ……ジルベルト・フレイレ著、鈴木 茂訳
- (80) 「アゼルバイジャンの古語——アーザリーについて——第1部」  
……アフマド・キャスラヴィー著、八尾師 誠訳

### 1993年3月

- (81) “Resurrection of Ancient Japan Revisited 1990-91” ……Peter B. Oblas
- (82) 「ビルマ・コンバウン期(AD. 1752~1885)社会経済史資料(3)」  
——「地方文書集:(1) ビャンヂャ村文書、  
(2) コンバウン前期(~AD. 1819)の土地質入れ、売買文書」 ……斎藤照子編訳
- (83) “Environmental Deterioration Maximin Criterion, and Growth” ……大沼あゆみ
- (84) 「スペイン市民の手引き——その権利と義務の概略——」  
……ペドロ・バスカシオ・フェルナンデス・サルデーノ著、立石博高訳
- (85) 『『TRIC-TRAC』考——ニココロ・マキアヴェッリと  
アガティアス・スコラスティコス——』 ……高下一郎
- (86) 「ポルトガル旧体制の社会構造」  
……ヴィットリーノ・マガリャンイス・ゴディーニョ著、金七紀男・原田麻里訳

- (87) 「カースト及びインド社会論関係文献目録(図書篇)・その4」 ……藤井 毅
- (88) 「スジャラ・ムラユ(2)―翻訳：ムラユ王統記―」 ……小野沢 純
- (89) 「ベトナム近現代史思想史資料翻訳(1)」 ……今井昭夫編訳
- (90) 「ヴィーコ『新しい学』の原理と方法」 ……上村忠男
- (91) 「赤いウィーン―研究文献目録―」 ……小沢弘明
- (92) 「アゼルバイジャンの古語―アーザリーについて―第2部」  
 ……アフマド・キャスラヴィー著、八尾師 誠訳
- (93) 「経営史学の研究方法について」 ……飯田 隆

### 1994年3月

- (94) 「ロシアにおける民営化と労働者所有企業」 ……岡田 進
- (95) 「現代ベトナム文学史における思想闘争について―1930～1954年―」 ……今井昭夫
- (96) “The Role of the Securities Market in Industrialization” ……飯田 隆
- (97) 「スジャラ・ムラユ(3)―翻訳：ムラユ王統記―」 ……小野沢 純
- (98) 「カザ・グランデとセンザーラ―家父長的経済制度下におけるブラジルの  
 家族の形成―初版への序」 ……ジルベルト・フレイレ著、鈴木 茂訳

### 1995年3月

- (99) 「沂州教案について―ドイツ帝国主義・聖言会・アメリカ長老会―」 ……佐藤公彦
- (100) 「二十世紀におけるポルトガルの新キリスト教徒」  
 ……サムエル・シュヴァルツ著、金七紀男訳
- (101) 「戦間期ベトナムにおける社会変容とジャーナリズム(1)  
 ―女性新聞・女性雑誌―」 ……今井昭夫
- (102) 「ミラノ時代(1801～1806)のヴィンテントオ・クオーコ(2)  
 ―『イタリアにおけるプラトン』講究―」 ……高下一郎
- (103) 「5月2日事件」再考  
 ―ラファエル・ペレスの『覚書』を手がかりとして―」 ……立石博高
- (104) 「『勤労的集団所有企業』の理論と実践」 ……岡田 進
- (105) 「スジャラ・ムラユ(4)―翻訳：ムラユ王統記―」 ……小野沢 純
- (106) 「カザ・グランデとセンザーラ―家父長的経済体制下におけるブラジルの  
 家族の形成―第一章」 ……ジルベルト・フレイレ著、鈴木 茂訳
- (107-A) 「ウィーンのマルクス  
 ―1848年：革命と復古のあいだの労働者運動(上)―」  
 ……ヘルバート・シュタイナー著、増谷英樹監、山本達夫訳

### 1996年3月

- (107-B) 「神拳―義和団の形成―」 ……佐藤公彦

- (108) 「戦間期ベトナムにおける社会変容とジャーナリズム (2)  
——ファン・コイ (1887~1960年) の著作の目録および翻訳——」 ……今井昭夫
- (109) 「世界民主連邦共和国」 ……フェルナンド・ガリード著、立石博高訳
- (110) 「南アジアにおける言語問題関連資料集」 ……藤井 毅編
- (111) 「ウィーンのマルクス  
——1848年：革命と復古のあいだの労働者運動(中)——」  
……ヘルバート・シュタイナー著、増谷英樹監、山本達夫訳
- (112) 「カザ・グランデとセンザーラ——家父長的経済体制下におけるブラジルの  
家族の形成——第二章」 ……ジルベルト・フレイレ著、鈴木 茂訳

### 1997年3月

- (113) 「義和拳の起源」 ……佐藤公彦
- (114) 「覚書・新しい政治文化の誕生——自由民権運動における新聞と演説——」 ……稲田雅洋
- (115) 不明
- (116) 「資料集——論争・ポーランド現代史の中の反ユダヤ主義——」 ……小原雅俊・松家仁編訳
- (117) 「カザ・グランデとセンザーラ——家父長的経済体制下におけるブラジルの  
家族の形成——第三章」 ……ジルベルト・フレイレ著、鈴木茂 訳
- (118) 「ゴールドハーゲン論争——ホロコースとドイツ人をめぐる問題——」 ……増谷英樹編
- (119) 「大戦間期のベトナムにおける儒教をめぐる論調」 ……今井昭夫
- (120) 「日本宗教のゆくえ・1995年——現世主義的近代とその不快なもの——」  
……島 進 (東京大学大学院人文社会系研究科教授)
- (121) 「東アジア文化の中の『日本』宗教」 ……笠井正弘 (西日本短期大学)

### 1998年3月

- (122) 「1492年の亡霊——スペインにおける宗教的自由を求める苦闘とユダヤ問題——」  
……シーザー・C. アロンスフェルド著、立石博高訳
- (123) 「日本宗教のゆくえ・1995年——『オランダのセファルディ』——」  
……ジョナサン・ヘスラエル著、金七紀男訳
- (124) 「十八世紀メキシコにおける地域社会と啓蒙主義についての一考察」 ……安村直巳
- (125) 「ビルマ・コンバウン期 (AD. 1752~1885) 社会経済史資料  
——土地取引関係文書——」 ……斉藤照子・岩城高広・水野明日香訳
- (126) 「映画『山猫』について」 ……高下 一郎
- (127) 「第三帝国のユダヤ人政策」 ……ウーヴェ・D・アーダム著、増谷英樹監、山本達夫訳
- (128) 「カザ・グランデとセンザーラ——家父長的経済体制下におけるブラジルの  
家族の形成——第四・五章」 ……ジルベツト・フレイレ著、鈴木 茂訳
- (129) 「ドゥブラヴカ・ウグレシッチ『嘘の文化』より  
『三場の対話あるいは蛇口芝居』・『亡命のABC』」 ……岩崎 稔訳
- (130) 不明



- (131) 「誰の罪か 歴史家論争からゴールドハーゲン論争へ」  
……ヴォルフガング・ヴィッパーマン著、増谷英樹編、日暮美奈子・岡葉子など訳
- (132) 「ベトナムにおける儒学——教育と科挙——」  
……今井昭夫編訳
- (133) 「続資料集——論争・ポーランド現代史の中の反ユダヤ主義——」  
……小原雅俊・松家 仁編訳

## 五、地域研究ブックレビュー

### 創刊号(1984年5月)

- 創刊の辞  
……………山之内 靖
- V. D. グラツィア『合意の文化——ファシズム期イタリアにおける  
レジャーの大衆組織化——』  
……………書評：木沢直子  
コメント：上村忠男
- D. F. アイケルマン『中東——人類学的アプローチ——』  
……………書評：白井 陽  
コメント：三木 亘
- D. N. グナガレー『1920～50年インドにおける農民運動』  
……………書評：三宅博之  
コメント：中村平治
- D. G. マー『試練に立つベトナムの伝統、1920～1945年』  
……………書評：北川 元  
コメント：日隈真澄
- 蘇星『我国農業の社会主義的改造』  
……………書評：丸山鋼二  
コメント：岡田 進
- J. L. ギャディス『封じ込め戦略——戦後アメリカ安全保障政策の批判的考察——』  
……………書評：木村卓司  
コメント：中嶋嶺雄
- J. C. スコット『農民のモラルエコノミー  
——東南アジアにおける反乱と生存——』  
……………書評：今井昭夫  
コメント：斎藤照子
- L. A. ティリー、J. W. スコット『女性・労働・家族』  
……………書評：中野隆生  
コメント：山之内 靖

### 第2号(1985年3月)

- 山之内 靖『現代社会の歴史的位相——疎外論の再構築をめざして——』  
……………書評：雨宮昭彦  
コメント：山之内 靖
- B. バエルチ『メーヌ・ド・ピランの存在論』  
……………書評：佐藤国郎  
コメント：宮川 透
- J. レーゼル『マックス・ウェーバーのヒンドゥー教論  
——宗教社会学的思考過程——』  
……………書評：前川輝光  
コメント：中村平治
- M. アダス『反乱の予言者  
——ヨーロッパ植民地秩序に対する千年王国的反抗運動——』  
……………書評：伊野憲治  
コメント：斎藤照子

- P. タイナー『社会的自由主義とドイツの世界政策——ヴィルヘルム時代のドイツにおけるフリードリヒ・ナウマン(1860~1919年)——』……書評：石田あつみ  
コメント：田中 治男
- フェ・タム・ホー・タイ『ベトナムの千年王国主義と農民政治』……書評：今井昭夫  
コメント：斎藤照子
- R. パイプス『ストルーヴェ——左派自由主義者 1870~1905年——』……書評：雨宮 羊子  
コメント：山之内 靖
- R. パイプス『フトルーヴェ——左派自由主義者1905~1944年——』……書評：雨宮 羊子  
コメント：山之内 靖
- I. ブリテン『フェビアン主義と文化——イギリス社会主義と芸術の研究1884~1918年——』……書評：船山良一  
コメント：長 幸男
- T. A. スプラーゲン『自由主義的理性の逆説』……書評：村上弥生  
コメント：上村忠男
- M. ヤロシ『ポーランドにおける自殺——社会解体の指標として——』……書評：石塚省二  
コメント：鈴木幸壽

### 第3号(1986年3月)

#### 特集：「歴史社会学の可能性」

- 1、シンポジウムの企画について……山之内 靖
- 2、スコッチポルと歴史社会学における三つの戦略……山之内 靖
- 3、チャールズ・ティリーの集合行為論と社会史研究……中野隆生
- 4、マルク・ブロックと社会史の風景……二宮宏之

#### 新刊紹介

- Zunz, Olivier ed.  
Reliving The Past, The Worlds of Social History, 1985……山之内 靖他
- クアン・シャン・リアオ『中国の「反外国主義」近代化1860~1980年——内政と外交のリンケージ——』……書評：澁谷 司  
コメント：中嶋嶺雄
- A. ピュイグロス『ラテンアメリカにおける帝国主義と教育』……書評：牛田千鶴  
コメント：小澤周三
- G. デ・ルッジェーロ『ヨーロッパ自由主義史』……書評：押場靖志  
コメント：上村忠男

R. J. ダルトン、S. C. フラナガン、P. A. ベック編

『先進工業民主主義における選挙の変化

——支持構造再編成か、政党ばなれか——』

……書評：田総恵子

コメント：小浪 充

G. ヴォールファルト『言語の思想——ヴィーコ、ハーマン、

ファンボルト及びヘーゲルにおける言語と芸術——』

……書評：森田耕喜

コメント：上村忠男

A. G. ディケンズ『ヨーク管区のロラード派とプロテスタンティズム 1509～1558年』

……書評：宮崎かすみ

コメント：山之内 靖

#### 第4号(1987年3月)

特集：「G. ポッジ『現代社会理論の源流』をめぐって」

1、トクヴィルの章について

……田中治男

2、マルクスの章について

……山之内 靖

3、デュルケムの章について

……宮島 喬

……司会：上村忠男

フランソワーズ・ドコモン『ジョルジュ・ポンピドゥ時代

——フランスの大統領制度的政体に関する一考察——』

……書評：松本達也

コメント：田中治男

アンドレアス・バス編『アジア研究におけるマックス・ウェーバー』

……書評：前川輝光

川上祐司

コメント：島蘭 進

A. H. ソースキナ『20年代シベリア農村における社会調査の歴史』

……書評：蓮見 雄

コメント：新田 実

ジャン・クロード・ランベルティ著『トクヴィルと二つの民主主義』

……書評：末広 淳

コメント：田中治男

ヴィンフリート・シュルツェ編『蜂起、暴動及び法廷闘争』

……書評：岡村 恒

コメント：増谷英樹

クリストファ・ヒル『十七世紀イギリスの宗教と政治

——クルストファ・ヒル著作集、第2巻——』

……書評：宮崎かすみ

コメント：山之内 靖

## 第5号(1988年3月)

特集：『新しい世界史』をめぐる

- 『大地の子』について ……藤井 毅  
『静かな革命』について ……羽場久混子  
『スルタンガリエフの夢』について ……小松久男  
……司会：増谷英樹

E. E. ジャコビッティ『近代イタリアにおける革命的  
ヒューマニズムと歴史主義』

……書評：押場靖志

B. H. シシュキン『国内戦期におけるシベリア革命委員会(1919年8月～1921年3月)』

- 『シベリア農村における社会主義建設(1919年11月～1921年3月)』 ……書評：蓮見 雄  
コメント：岡田 進

D. フォーレ『中国農村社会の構造：香港新界東部におけるリネージと村落』

……書評：浅沼かおり  
コメント：佐藤 公彦

フランソワーズ・レゾン＝ジュルト著『十九世紀パリのオーヴェルニュ人コロニー』

……書評：金子春美  
コメント：二宮宏之

キアラ・フルゴーニ『遙かな都市——中世の心性と心象——』

……書評：尾形希和子  
コメント：上村 忠男

アラン・ペイルフィット『大統領、もう一頑張り』

……書評：松本達也  
コメント：田中治男

シャーリィ・R・パイク『マルクス主義と現象学』

……書評：石塚 省二  
コメント：山之内 靖

## 第6号(1989年3月)

特集：「歴史における民衆——『新しい世界史』をめぐる(続)——」

- 『ピラの中の革命』について ……成田龍一  
『草の根のファシズム』について ……佐藤公彦  
……司会：上村忠男

チャンドラン・D・S・デヴァネッセン著『マハートマーの生誕』

……書評：前川輝光  
コメント：山之内 靖  
藤井 毅

S. P. セティ、N. ナミキ、C. スワンソン『日本の奇跡——その虚像——』

……書評：谷口弘美

コメント：山之内 靖

イリア・スルーバー編『亡命・学問・アイデンティティ——1933年から  
1945年におけるドイツ社会学者の外国移住——』

……書評：矢野久美子

コメント：上村 忠男

J. P. チャンドラ『デリー ——その政治研究——』

V. L. パンディット『エリートと都市政治——デリーの場合——』

……書評：井上あえか

コメント：中村 平治

第7号(1990年3月)

### 特集

「上村忠男『クリオの手鏡——二十世紀イタリアの思想家たち』をめぐって」

……ディスカッサント：二宮宏之

岩崎 稔

……司会：増谷英樹

M. ヨッフエ『ロシア中央工業地域の木綿企業家(1880~1914年)  
——商人・政治・経済——』

……書評：平岩 宣久

コメント：山之内 靖

M. S. ラーソン『プロフェッショナルリズムの興隆——社会学的分析——』

……書評：谷口弘美

コメント：山之内 靖

トレント『大西洋の彼方へ——ブラジルのイタリア人移民百年史——』

……書評：北村左保里

コメント：鈴木 茂

E. W. サイド『オリエンタリズム』

……書評：林みどり

コメント：上村忠男

V. フマガッリ『空が翳るとき——中世の生の諸様式——』

……書評：尾形希和子

コメント：上村 忠男

E. Y. ・ブリュール『ハンナ・アーレント——世界愛のために——』

……書評：矢野久美子

コメント：上村 忠男

タンヌリー『絶対的なる不可知論者マルローあるいは世界の法則としての変貌』

……書評：山崎ゆき子

コメント：西永 良成

H. ル・ブラ『三つのフランス』

……書評：金子春美

コメント：二宮宏之

## 第8号(1991年3月)

- 樋渡由美『戦後政治と日米関係』  
……書評：河野康子  
コメント：樋渡由美
- アルベルト・メルッチ『現在の遊牧民』  
……書評：三田村芳恵  
コメント：山之内 靖
- L. J. ヒューム『ベンサムと官僚制』  
……書評：坂本洋一  
コメント：岩崎 稔
- R. ドノルモ『中央部ロシア及びウラジーミル県の農民  
——農奴解放と市場への対応(1850~1900年)——』  
……書評：平岩宣久  
コメント：二宮宏之
- ヴォルフガング・シュルフター編  
『マックス・ヴェーバーのヒンドゥー教と仏教研究』  
……書評：前川 輝光  
コメント：山之内 靖
- モーリス・アギュロン『権力についたマリアンヌ  
——1880年から1914年における共和国の凶像と象徴——』  
……書評：細野圭司  
コメント：二宮宏之

## 第9号(1992年3月)

- B. S. ターナー『医療権力と社会的知識』  
……書評：谷口 弘美  
コメント：山之内 靖
- ダンデッカー『監視、権力、近代——1700年から今日に至る官僚制と規律——』  
……書評：坂本 洋一  
コメント：山之内 靖
- D. ハーヴェイ『ポストモダンの条件——文化変容の起源の探究——』  
……書評：西村和子  
コメント：岩崎 稔
- 長崎 浩『世紀末の社会主義——変革の底流を読む——』  
……書評：佐藤 章  
コメント：上村忠男
- G. ヴァッティモ『主体の向こう側——ニーチェ、ハイデガー、解釈学——』  
……書評：廣石正和  
コメント：上村忠男
- E. ビルバオ、M. A. ガヤルト『チカーノ——隔離と教育——』  
……書評：池本さやか  
コメント：清水 透
- 秦家懿・孔漢思『中国宗教とキリスト教』  
……書評：渡辺祐子  
コメント：佐藤公彦

R. シュワブ『オリエンタル・ルネサンス

——ヨーロッパにおけるインドと東洋の再発見 1680～1880年——』

……書評： 倉田彰子

コメント： 藤井 毅

**第10号(1993年3月)**

特集：「歴史意識の現在」

第1部

「日本史研究の深部から——著者とともに論じる——」『近代天皇像の形成』

……著者： 安丸良夫

……ディスカッサント： 近藤和彦

西原和久

第2部

「『戦後』後の歴史学」

……キャロル・グラック

C. W. スタール編『今日の国際的移動——浮上する問題群——』

……書評： 佐藤 章

コメント： 山之内 靖

S. ラッシュ、J. アリー『組織資本主義の終焉』

……書評： 秋葉就一

コメント： 山之内 靖

喻松青『明清白蓮教研究』

……書評： 大部理恵

コメント： 佐藤公彦

劉長林『中国系統思惟』

……書評： 岩崎治美

コメント： 上村忠男

**第11号(1994年3月)**

特集：「アイデンティティからの疑い、アイデンティティへの疑い」

第1部

「著者とともに論じる」——『新しい民族問題——EC統合とエスにシティー——』

……著者： 梶田孝道

……ディスカッサント： 増谷英樹

鈴木 茂

第2部

「私のニーチェ体験」

…… 竹田青嗣

W. O. マッキヤグ二世『ハプスブルグ・ユダヤ史 1670～1918年』

……書評： 豊田洋美

コメント： 増谷英樹



J. ワートハイマ 『招かれざる客——帝政期ドイツにおける東欧ユダヤ教徒——』

……書評：日暮美奈子

コメント：増谷 英樹

Ch. ゲアク 『新しい社会運動と批判理論——社会理論的解明における掛かりの構築——』

……書評：井関正久

コメント：増谷英樹

Y. パトチュカ 『歴史哲学についての異端的エッセー』

……書評：菊池恵介

コメント：上村忠男

## 第12号(1995年3月)

J. バトラー 『問題——質としての身体——』

……書評：ジュリー・ルソー

コメント：岩崎 稔

E. J. ホブズボーム 『1780年以來のネーションとナショナリズム

——その綱領、神話、現実——』

……書評：古郡重忠

コメント：ピーター・B. オブラス

D. S. ダグラス、N. A. デントン 『アメリカン・アパルトヘイト

——セグリゲーションおよびアンダークラスの創出——』

……書評：岸本 由紀子

コメント：伊豫谷登士翁

費孝通 『中華民族多元一体局』

……書評：大崎雄二

コメント：佐藤公彦

N. F. コット 『近代フェミズム基盤の形成』

……書評：山内 恵

コメント：上村忠男

G. ボック 『国民社会主義における強制断種不妊化

——人種政策・女性政策研究——』

……書評：日暮美奈子

コメント：増谷 英樹

## 第13号(1996年3月)

F. M. L. トムソン 『リスペクタブルな社会の興隆

——ヴィクトリア期イギリスの社会史 1830～1900年——』

……書評：伊藤 茂

コメント：山之内 靖

ブロック 『あるシチリアの村のマフィア 1860～1960年

——暴力的農民企業家の研究——』

……書評：小田原 琳

コメント：上村 忠男

G. コッキアーラ 『イタリアにおける民間伝承研究史』

……書評：松影理子

コメント：上村忠男

- S. フォルコフ 『ドイツにおけるユダヤ 1780～1918年』  
……書評：大村かおる  
コメント：増谷 英樹
- K. H. リューディガー 『ナミビア・ドイツ人  
——ナショナリティー誕生の歴史——』  
……書評：柴田暖子  
コメント：増谷英樹
- P. モーリス・カイトル 『ドイツ青年運動の文学  
——1900～1918年間の市民生態概念——』  
……書評：古川高子  
コメント：増谷英樹
- S. ハガード、C. H. リー、S. マックスフィールド編著  
『発展途上国 における金融の政治学』  
……書評：松本充豊  
コメント：樋渡由美
- F. M. ギョチック、S. バラキ編著 『中東におけるジェンダーの再構築  
——伝統・アイデンティティ・権力——』  
……書評：柴田 涼  
コメント：山之内 靖
- P. ファン・デル・フェール 『宗教的国民主義  
——インドにおけるヒンドゥーとムスリム——』  
……書評：井上あえか  
コメント：藤井 毅
- R. F. レタマール 『「キャリバン」他』  
……書評：岩村健二郎  
コメント：上村 忠男
- F. レストラング 『ルネサンス期における世界の記述』  
……書評：竹下和亮  
コメント：上村忠男
- ネグリ 『野生の異例性——バルッフ・スピノザにおける権力と力能——』  
……書評：石川英嗣  
コメント：上村忠男
- E. クラクウ、C. ムフ 『ヘゲモニーと社会主義戦略』  
……書評：葛西弘隆  
コメント：上村忠男
- ヒューイット 『ファシストのモダニズム』  
……書評：飛嶋隆信  
コメント：松浦寿夫

#### 第14号(1997年3月)

- M. ライヴェリン 『ドオルイズ』  
……書評：宮地裕美子  
コメント：上村 忠男
- F. E. マジヨン 『農民と国家—脱植民地期メキシコ・ペルーの形成』  
……書評：杉村麻衣子  
コメント：安村 直巳

J.G. ヌーゲント『チョロの迷宮』

……書評：佐々木直美  
コメント：鈴木 茂

R. ホワイト『オーストラリアの発明——1688年から1980年までの  
イメージとアイデンティティ——』

……書評：神田 智則  
コメント：伊豫谷登士翁

ブッチ『アイデアに導かれた企業：美とファッションのマネジメント』

……書評：五月女由紀子  
コメント：上村 忠男

G. レーヴィ『無形の遺産——十七世紀ピエモンテにおける  
あるひとりの祓魔師の生涯——』

……書評：木村真一  
コメント：上村忠男

### 第15号(1998年3月)

「植民地主義と主体形成——ジョン・ペンバートン著

『〔ジャワ〕という主体について』を読んで——」

……書評：井口由布

「エスニシティへの道程——ミン・ピョンガップ著『コウト イン ザミドル：  
——ニューヨーク・ロサンゼルスのコリアンコミュニティ』より——」

……書評：川島信子  
コメント：中野敏男

「ダンスと社会主義政権——Yvonne Daniel, *Rumba: Dance and*

*Social Change in Contemporary Cuba*, Indiana University Press, 1995. 」

……書評：工藤多香子  
コメント：栗田 博之

『『アルピニスム』の思想的変遷

——『アルピニスム 文化・組織・政治』を読んで——」

……書評：古川高子  
コメント：増谷英樹

「国民意識という名の暴力をめぐるって

——E. ブルックミュラー『オーストラリア国民：  
文化意識と社会的・政治的過程』を読んで——」

……書評：坂本美どり  
コメント：増谷 英樹

- 「スロヴェニアのドイツ系住民の歴史——キーワードを中心に——」  
Helmut Rumpler, Arnold Suppan (Hrg.) *Geschichte der  
Deutschen im Bereich des heutigen Slowenien 1848-1941*  
(Schriftenerihe des Osterreichischen Ost-und  
Sudosteuropa-Instituts; Bd.13), Wien / München, 1988. ……書評：藤井欣子  
コメント：増谷英樹
- 「共通の歴史認識への試み—H. モムゼン、J. コジャルカ編  
『不均等な隣人たちドイツ人、チェコ人、スロヴァキア人における  
民主的およびナショナルな解放運動(1815~1914年)』を読む」 ……書評：岡 葉子  
コメント：増谷英樹
- 「他者へのまなざしあるいはその変化をいかにして論じるか  
——『民間宗教、及びエリート層と改革：インド植民地時代における  
フック・スウィングとその禁止—1800~1894年』——」 ……書評：石田久美子  
「忘れられていた台湾史——伊能嘉矩『台湾文化志』について——」 ……書評：邱 淑珍  
コメント：佐藤 公彦
- 「中国キリスト教史研究の現在——Daniel H. Bays (ed.),  
*Christianity in China: From the Eighteenth Century  
to the Present*, Stanford, California: Stanford Univ.  
Press, 1996. ——」 ……書評：渡辺祐子  
コメント：佐藤公彦
- 「市場社会へのひとつの問題提起——Andrew Bard Schmockler,  
*The Illusion of Choice: How the market Economy  
Sharpes Our Destiny*, Albany: State University of New  
York Press, 1993. ——」 ……書評：青木裕子  
コメント：増谷英樹
- 「多様な『日本』と文明化——キャロル・グラック  
『近代日本の神話：明治後期のイデオロギー』を読む——」 ……書評：平井雄一郎  
コメント：酒井 直樹
- 「遅れてきた解釈——アレクシス・フロネンコ  
『ベルクソンあるいは厳密な学としての哲学について』——」 ……書評：市原 豊  
「隠喩としての神話——ハンス・ブルーメンベルクの神話論——」 ……書評：高橋明史  
「記号生産から見るエーコ物語論の射程——ウンベルト・エーコ  
『物語の森の六回の散歩』より——」 ……書評：師玉真理

## 六、『Quadrante』(クアドランテ)

創刊号(1999年3月)

- 創刊によせて ……増谷英樹
- 論文
- ミカドの外交礼儀 ……中山和芳
- 北一輝の辛亥革命・五四運動観——吉野作造との対比を中心に—— ……黄自進
- 「労働者」と「下層民」——チリ都市民衆の二類型—— ……高橋正明
- ホロコースト後の死(その1)ーヴォイドイフスキの自死が語りかけるものー ……小原雅俊
- ウェーバー研究史における「逆説」——歴史の「分断」と密かな「連続」—— ……三笥利幸
- 研究ノート
- 「スペイン王国」の成立とコンソルベ問題に関する覚書き ……立石博高
- ポルトガル異端審問所と新キリスト教徒——レヴァ＝サライヴァ論争をめぐる—— ……金七紀男
- 小特集：宗教と地域アイデンティティ
- インドネシアにおける諸宗教の共存 ……石井和子
- 社会主義ベトナムにおける宗教と政治——国家公認宗教団体を通じて—— ……今井昭夫
- エジプトの宗教的マイノリティとしてのキリスト教徒
- 中東の宗教的多様性の投ずる問題の一例として—— ……八木久美子
- 報告
- What is Her "Right" Name, "a Woman", "a Palestinian" or "a Filastiniya" ? ……Mari Oka

第2号(2000年3月)

- 特集：「記憶と歴史」国際シンポジウム
- 記憶と歴史のあいだで ……上村忠男
- 記憶、忘却、歴史——「記憶術としての歴史叙述」の原史—— ……岩崎 稔
- 記憶の不協和音としての「共和政」——「共和政フランス」と集合的記憶—— ……工藤光一
- ダイアナ・ウォン「グローバル・シティの記憶『シンガポール物語』について ……斎藤照子
- ドイモイ下のベトナムにおける「戦争の記憶」 ……今井昭夫
- 「アメリカの戦争」の記憶——ヴェトナム戦争をめぐる—— ……生井英考
- 総括提案にかえて ……岩崎 稔
- シンポジウム「記憶と歴史」傍聴記 ……金井光太郎
- Memories of a Global City: "The Singapore Story" ……Diana Wong
- Toward a History National Memory ……John Bodnar
- Memory and History at the End of History ……Patrick Hutton

論文

- 明治後期における中国像——日本政府の中国革命運動への支援と否定—— ……黄 自進
- 研究動向
- 欧州における東南アジア研究の現状と関連文献の所在 ……奥平龍二
- 書評
- スピノザの想像力とアイデンティティ——M.Gatens & G.Lloyd,  
*Collective Imaginings — Spinoza, Past and Present* ……吉田耕太郎
- 〈アートとしての生〉と独断論—— Alexander Nehamas,  
*The Art of Living* (University of California Press,1998)をめぐって —— ……高橋明史

## 七、活動報告・目録

『研究活動報告(1954～1973年)』、1974年。

『東京外国語大学海外事情研究所蔵書目録』、1974年。

『海外事情研究所の歩み』、1991年。





東京外国語大学海外事情研究所  
刊 行 印 刷 物 総 目 録

---

2000年3月30日 発行

東京外国語大学海外事情研究所

〒114-0024 東京都北区西ヶ原 4-51-21

TEL 03-5974-3634

FAX 03-5974-3635

---



